



カンロ株式会社

〒165-8775 東京都中野区新井2-10-11 Tel.03-3385-8811 www.kanro.co.jp

CSRレポート2015

ISO 26000に基づく活動

カンロは、おいしさのご提供だけではなく、
家族や友達、そして人と人を結ぶ存在でありたいと考えています。
私たちは企業の社会的責任を果たすために、
世界基準であるISO 26000に基づいて事業活動を行い、
カンロに関わる全ての人たちを応援していきます。

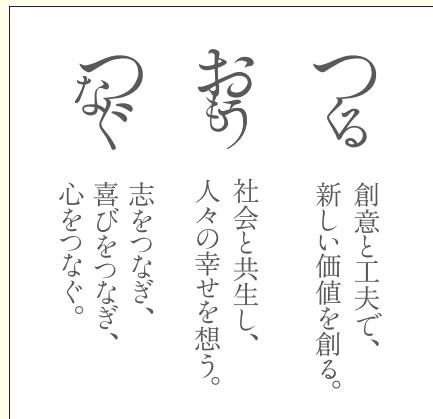


組織統治

当社は、消費者に「美味しい・楽しさ・健康」を提供することを使命とし、「つくる・おもう・つなぐ」という社是のもと事業活動を行っています。

また、事業活動を行う上で、社会の一員として法令遵守、社会貢献、公明正大な企業行動を実践するために、社員・役員の行動規範となる「企業行動憲章」を制定し、企業倫理の指針としています。

これらに加えて経営の透明性および健全性の確保、経営の効率性の向上を目指し、継続的な企業価値向上を実現するためには、取締役会および監査役会の機能強化、経営状況の情報開示(ディスクロージャー)、株主への説明義務が重要であると考え、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでおります。



● コーポレートガバナンス

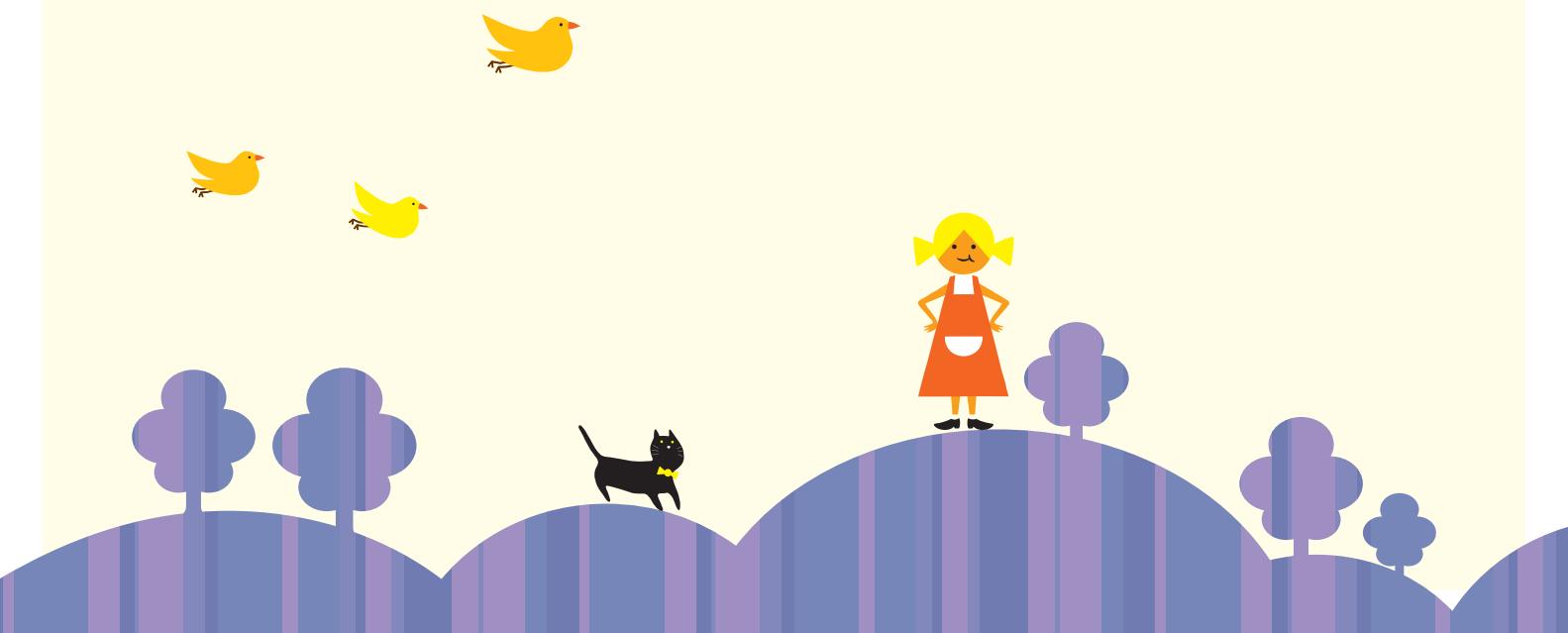
株主価値の観点から経営を監査する仕組みを確保するために、独立した立場からの監督機能の強化に努めています。2016年3月には独立社外取締役を新たに2名招聘しました。今後も企業経営における客觀性や透明性をより一層高めていきます。

● BCP(事業継続計画)

すべての役員、従業員とその家族の安全確保を第一とし、その上で業務の早期復旧および継続を実現すべく、事業継続計画を策定しております。

お菓子の製造メーカーである当社の使命は、安全で安心な製品の安定供給です。大規模災害が発生した場合には、調達先の被災状況を確認し、仮に特定の材料の供給が途絶した場合でも安定供給を図るため、代替の原料を使用するなど生産の継続または早期再開を図ります。

*BCP:Business Continuity Plan



● コンプライアンス

法令・社内規定にとどまらず、一般的な社会規範等を遵守して行動することを定義しています。

研修:

全社員対象や階層別など、様々な研修を実施してコンプライアンス教育を徹底しています。

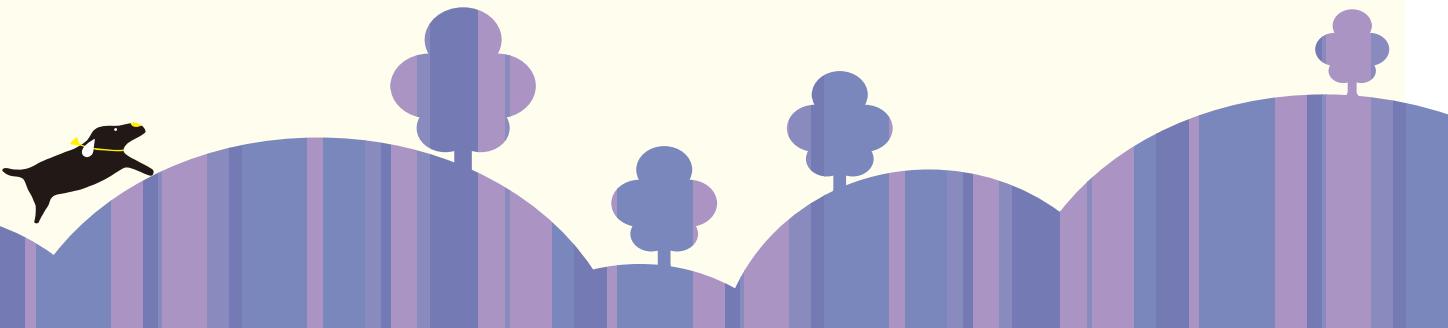
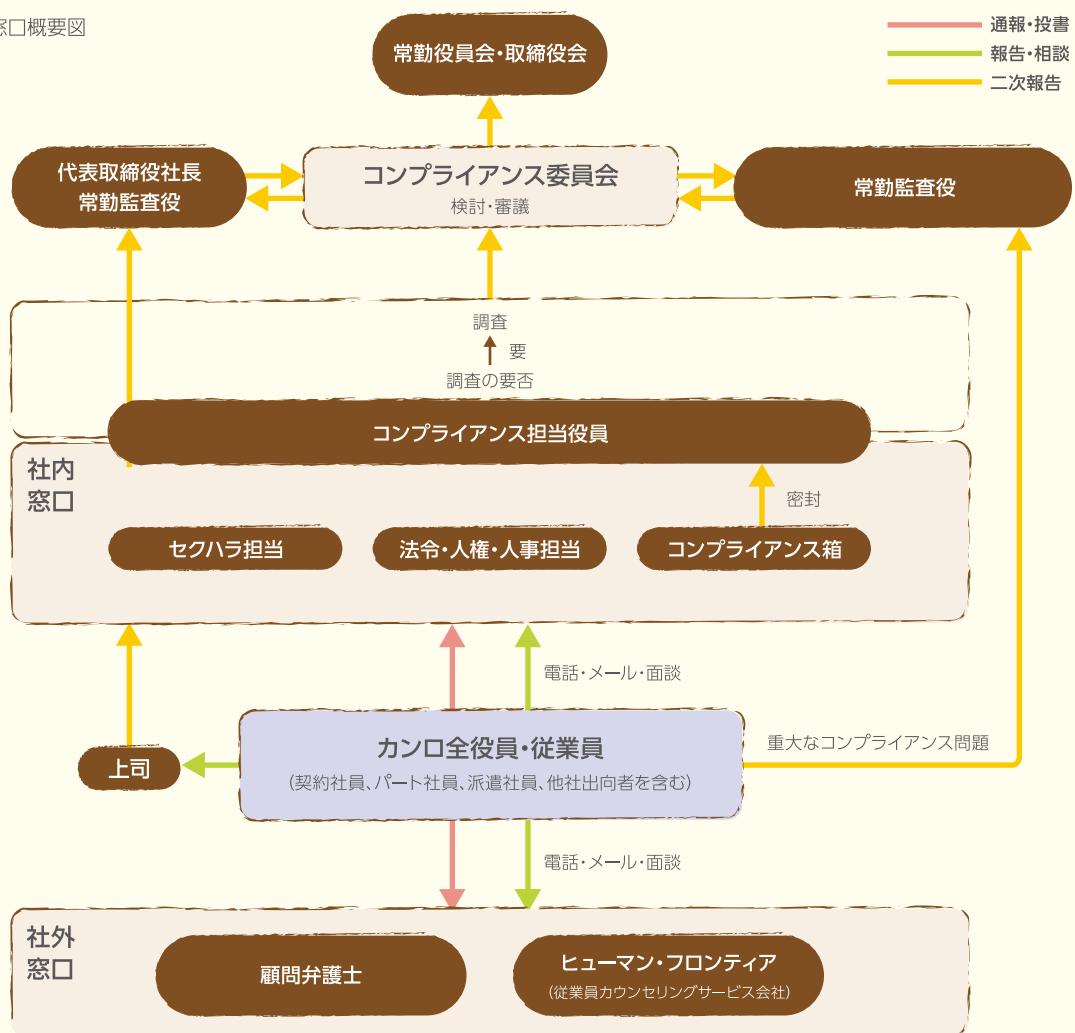
内部通報窓口の設置:

法令違反に関する通報ができる窓口を社内外に設置しました。通報時には、コンプライアンス委員会を招集し、検討・審議します。

社内体制:

コンプライアンス担当役員を置き、その者を委員長とするコンプライアンス委員会を設置しています。原則、毎年2回定期時の委員会を開催し、規定の策定、変更に関する事項、教育に関する事項を審議しています。

内部通報窓口概要図



地域社会のために

● フードバンク活動

賞味期限内であるにも関わらず、様々な理由から市場に流通できない食品を、食糧を必要としている福祉施設や貧困者に配布する「フードバンク活動」を「セカンドハーベスト・ジャパン」を通して行っています。



SECOND
HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

セカンドハーベスト・ジャパン

日本で初めてフードバンク活動を始めたNPO法人。
関東圏を中心に全国規模で活動。

● 地域イベントへの出展

カンロは、「食」を通じて地域社会の皆様とより良い関係を築けるように、本社がある東京都中野区の地域イベントに積極的に参加しています。2015年は「ナカノ・キッズフェス」「中野にぎわいフェスタ」「中野文化祭」に出展し、のべ46名の社員が参加。キャンディのつかみ取りやサンプリングなどをしながら、地域の方々と交流を深め、おいしさと笑顔をお届けしました。



● 地域への製品寄贈

毎年11月10日の創業記念日にあわせて、本社や工場のある4拠点にカンロのキャンディを寄贈しています。寄贈したキャンディは児童施設や障害者、高齢者の施設などに配られ、毎年多くの方に喜んでいただいています。



● CANDY PARK ヒトツブのヒカリ

創業100周年を記念し、カンロ発祥の地に建つひかり工場敷地内に開設。カンロという企業やキャンディをより身近に感じていただきながら、地域の皆様を結ぶきっかけになればと願っています。



世界のこどもたちのために

● 飢餓撲滅活動の支援

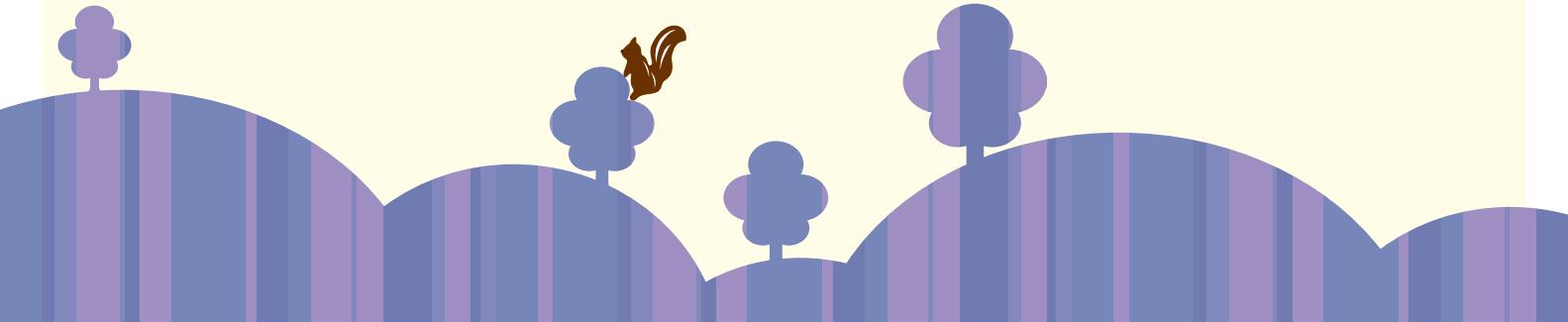
食糧支援機関である国連WFPの活動を評議員として応援しています。2014年からは、寄付つき商品を販売し、飢餓問題を伝え、こどもたちに学校給食を届ける支援をする「レッドカップキャンペーン」に参加しています。



© Mayumi.R

● 世界のこどもをキャンディで笑顔に

2015年から「Save the Children Japan」とパートナーシップを組み、こどもたちを笑顔にする活動をスタート。対象商品の売上の一部を寄付し、日本を含めた世界のこどもたちが教育や防疫など、こどもの権利が守られるよう日々取り組んでいます。この活動が認められ、一般生活者が社会貢献活動に参加できる商品・サービスに贈られる「ソーシャルエコプロダクト・アワード2016」を受賞しました。



従業員のために

● 高齢者雇用

定年退職後、再雇用を希望する社員を対象に、培ったスキルや人脈を活かせる継続雇用制度を設けています。再雇用者のモチベーション向上のために第2退職金制度の設立、短時間勤務制度の導入など、定期的に制度を見直し働きやすい運営を目指していきます。更に2015年度からは、再雇用を希望しない社員に対しての支援制度を実施し、2名がこの制度を利用しました。特別退職金の支給に加え、再就職や独立・起業から海外や田舎への移住、ボランティアまで、充実したセカンドライフを幅広くサポートしています。

	退職者	再雇用制度利用者	再雇用者合計人数
2012年度	6名	4名[67%]	16名
2013年度	4名	3名[75%]	18名
2014年度	5名	5名[100%]	19名
2015年度	2名	1名[50%]	16名

● 女性の活躍推進

人口減少に伴う、生産労働人口の減少により、これまで以上に女性の活躍が求められていると考え、2013年から管理職登用前の女性を対象に研修を実施。キャリアや能力の再認識と自立を促し、次期リーダーとしての活躍を支援しています。今後は2016年4月に施行された女性活躍躍進法に基づき、女性が個性と能力をより発揮できる社会のために、更なる取り組みを打ち出していくます。

● 健康管理

従業員の年齢や性別に応じ、人間ドックや女性のガン検診等の費用も会社負担にすることで、各種健康診断を受診しやすい環境を整えています。またEAP(従業員支援システム)を導入し、カウンセリングやメンタルヘルス研修等による心の健康サポートを進めています。

● 契約社員の正社員化

働く意欲の高い契約社員がよりやりがいや責任を持って働ける環境づくりのために、積極的に正社員へ登用する制度を導入。正社員化による福利厚生の充実や賃金の上昇で、従業員のモチベーションアップ・キャリアアップを目指す取り組みです。2015年度は6名が採用されました。

● 人材育成

従業員に能力向上と活用の機会を積極的に与え、使命感に燃えて業務遂行できる人材を育成し、当社の永続的発展と従業員個人の幸福の実現を目指していきます。

評価制度:

業績の結果のみならず業務プロセスにも重点をおいた評価制度を導入しています。

教育制度:

新入社員およびフォロー研修をはじめ入社3年目、主任、係長、管理職前といった細かな階層別研修のほか、職能別講座、自己啓発教育(通信教育)、インストラクター制度、社外ビジネススクール受講支援など各種研修プログラムを実施しています。



● 職場環境の改善

社員ひとりひとりが最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、より働きやすい職場環境を目指し、改善を行っています。本社ビルと豊洲研究所にはそれぞれ開放的なリフレッシュルームを新設。カラフルで五感が刺激されるような空間になっており、社員の憩いの場として、ときには打ち合わせや交流スペースとしても活用しています。



お客様のために

● お客様目線の研究開発

常に原点を忘ることなく、また新しい時代のニーズにも応えるべく、お客様の視点に立った研究・開発に積極的に取り組んでいます。

● 食品関連法規の遵守

品質保証管理部門では、定期的な製品の品質監査や製造環境審査、新製品の製品設計審査を実施。食品関連の法令遵守状況の確認を行っています。

● FSSC 22000認証取得

朝日工場では、多くの方に安全で安心な「おいしさ・楽しさ・健康」をお届けするため、食品安全の国際規格である「FSSC 22000*」を2015年7月に取得しました。
*オランダの食品安全認証財団が開発した国際規格。食品への異物混入の防止や衛生管理の基準などを定めている。



FSSC 22000



<http://www.audis.jp/client.htm>
<http://www.jas-anz.org/register>

● VOC(お客様の声)活動

お客様からのお問い合わせやご意見、ご指摘などは、すみやかに関係部署で閲覧できるようにし、製品やサービスの向上に役立てています。



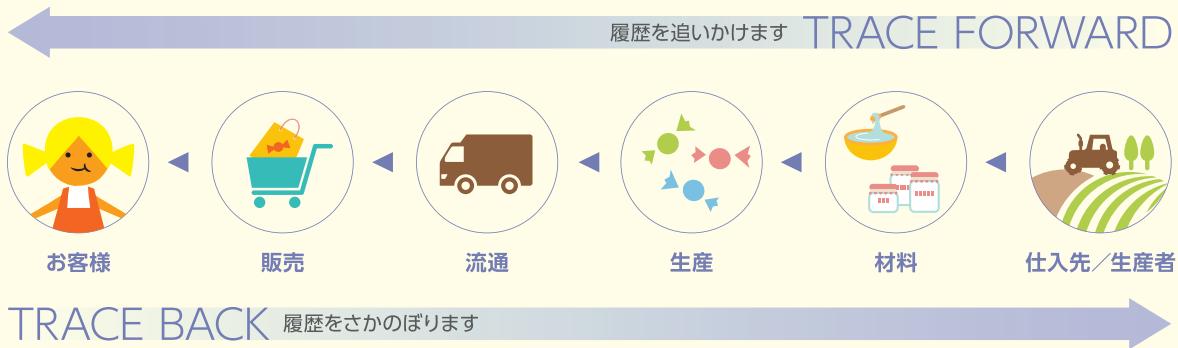
● ISO 9001認証取得

グループ会社のひかり製菓は、独自の厳しい衛生・品質管理に加え、2006年に製品やサービスの品質マネジメントシステムの世界基準「ISO 9001」を取得しました。お客様の満足度向上のために、常に品質を追い求め、安全で安心できるおいしさを皆様にお届けします。



● トレーサビリティ

トレーサビリティシステムを導入し、従来に比べて更に迅速かつ効率的に作業履歴を追跡することのできる体制を整えていきます。



地球環境のために

● クリーンエネルギーの利用

朝日工場は、2015年6月からCO₂を排出せずに発電できる太陽光発電設備の設置と売電の仕組みを構築しました。また、1日の発電量が一目でわかるモニターも設置し、社員への環境教育を実施しています。

松本工場では、ボイラーと空調設備の燃料を重油からCO₂の排出量が化石燃料の中で最も少ない都市ガスへ変更しました。その結果、従来よりCO₂排出量を19.4%削減することができました。これからも積極的に省エネ活動を進めていきます。



● 食品廃棄物を抑制する活動

製造の調整時などに発生する「不良餡」を有効活用するために、その大半を飼料・肥料としてリサイクルしています。また、生産管理の徹底により在庫を最適化することで、食品廃棄物を抑える努力をしています。



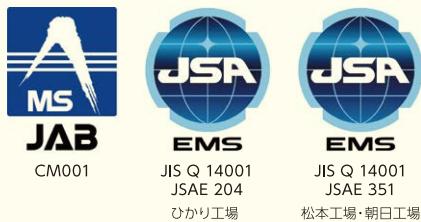
● エコ委員会

部門の垣根を超えた環境管理活動を統括する組織として、2009年にエコ委員会を設立しました。コピー用紙の使用量削減や商品包装の軽量化など、商品開発から販売まで、あらゆる事業活動の場面において継続的な環境負荷軽減を目標にしています。



● ISO 14001認証取得

製造室内の空調設備や製造工程における原料の煮詰め・冷却などに多くのエネルギーが使われている工場では、環境マネジメントシステムの認証を取得し、エネルギー使用量の削減など環境に配慮した生産活動を行っています。



マテリアルバランス

2015年1月～12月

カンロの生産段階における環境負荷の全体像

「マテリアルバランス」とは、企業の事業活動におけるエネルギーおよび資源の投入量(INPUT)と、その活動に伴って発生した環境負荷物質(OUTPUT)を数値に換算して、ひと目で分かるようにしたものです。

